

左近山中だより

令和2年 1月27日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 9

「喜び合う機会を」

校長 福田有志

今年のお正月も穏やかな陽気で迎えることができました。明けましておめでとうございます。昨年は左近山連合自治会50周年記念で祝賀会や団地祭など例年にも増して「おめでとうございます」という言葉を発することが多くあり、様々な機会に笑顔でお祝いを述べるができる年となりました。2020年も、地域や保護者のみなさまと共に生徒たちの活躍を笑顔で喜び合う年としていきたいと考えておりますので、昨年を引き続きまして温かい御支援・御協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年4月から左近山第二小学校の跡地に左近山特別支援学校が開校されました。本校では、8月に職員全員が左近山特別支援学校へ行って、見学をさせていただきました。また、どのようなことを学習するのかということも説明をしていただきました。11月には左近山特別支援学校のコーディネーターの先生から全校生徒に向けてお話をいただきました。12月には本校生徒会役員が左近山特別支援学校で見学をさせていただきました。各教室を回って「私たちは左近山中学校生徒会本部役員です。」とあいさつをした後、授業の様子を見たり、一緒に競技に参加したりしました。今後特別支援学校とどのような交流をしていけるのかを生徒会本部役員のみなさんが考えています。

新年を迎えた後、学校では今年度のまとめの時期に入っています。特に3年生は3月11日の卒業式まで、残すところ2か月となりました。一人ひとりがそれぞれの進路に向けた取組を進めています。昨年、進路について話をする中で、「自分は将来〇〇になりたい。そして困った人の役に立つために力を尽くしたい。」という目標を3年生から聞く機会がありました。高校での学習や部活動などが自分に合っていると考えて、進路を選択している人もいました。しっかりとした目標を持って、今後の自分のことを真剣に考えているみなさんからエネルギーを与えられたような気がします。2年生は、3年生の卒業後に学校を代表する学年となります。今の3年生と同じように活躍を期待しています。1年生は中学生としての1年間の経験を踏まえて、自分を大切に、仲間を大切に活躍していくことを期待しています。

今年も生徒のみなさんの活躍がとても楽しみです。



書初め

今年も、冬休みの宿題として書初めの課題がありました。国語科職員による審査を行い、金賞の作品を職員室前の廊下に掲示します。同時に、横浜市の総合文化祭に出品した作品も展示しています。

(国語科)

「金賞受賞者 1年生3名、2年生4名、3年生2名」

「総合文化祭出品 1年生2名、2年生2名」



百人一首大会に向けて

今年も百人一首への取組シーズンがやってきました。大会は、各学年とも3月に行われますが、それまでに力をつけていきます。

1、2年生は「百首を暗唱しよう！」ということで、各フロアにいる先生に覚えた歌を聞いてもらい、チェックを受けます。

また、他学年との練習会も3年目となりました。3年生は、これまで培ってきた実力で、2年生からの挑戦を受けています。2年生は、1年生から「先輩はすごいな。来年度は自分たちもがんばろう」と思われるように、取り組んでほしいと思います。

(国語科)



旭区チャリティーコンサート

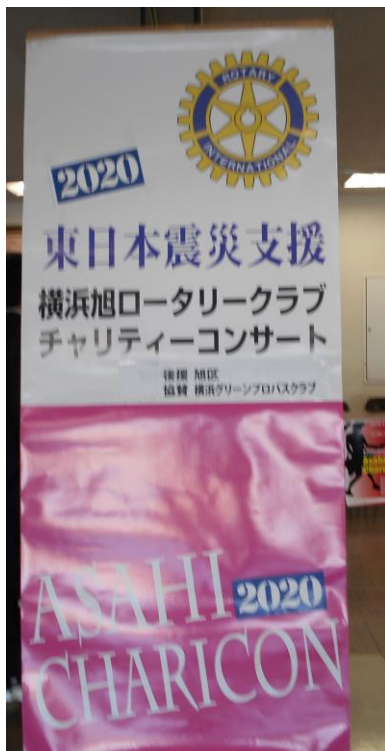
1月19日(日)、旭公会堂で行われた「旭区チャリティーコンサート」に音楽部が出演させていただきました。このコンサートは東日本大震災の復興支援イベントとして企画されたもので、今年で9回目の開催でした。

緊張からリハーサルでは硬い表情だった部員たちも、本番は会場の雰囲気の後押しされ、実力を十分に発揮したよい演奏ができたように思います。聴きに来てくれた方々が温かく演奏を盛り上げてくれました。

当日は自分たちの演奏だけでなく、コンサートの「受付」と「MC」を行いました。「受付」では、実際に募金をしてくださった来場者の方々に笑顔であいさつし、「MC」では、他の出演バンドのインタビューを交えながら爽やかに明るくはきはきと話すことができました。今回の経験を糧に、さらにパワーアップした左近山サウンドを皆様にお届けしたいと思います。

音楽部は3月8日(日)にスプリングコンサートを予定しています。部員一同、3年生最後の舞台に向け全力で取り組んでまいります。多くの方のご来場をお待ちしています。

(音楽部顧問)



照らせスポット!みんなが主役!みんなに拍手!」

1月21日、令和最初の合同学芸会が西公会堂で開催されました。本校は、和太鼓で「アフリカンシンフォニー」と「情熱大陸」を演奏しました。「アフリカンシンフォニー」は文化祭でも披露した曲でしたが、新たに「情熱大陸」を練習しました。「情熱大陸」は昨年度も発表した曲だったので、生徒同士で昨年度の経験を教えながら作り上げました。座ったり立ったりするタイミングや、ソロパートが上手くいかず何度も練習を重ねました。本番では、小さなハプニングはありましたが、かっこよく決めることができました。一瞬の静寂のあと、大きな拍手に会場が包まれた瞬間は感動的でした。

〈生徒の感想〉

- 私は、最後の合同学芸会でした。情熱大陸の演奏では「最後の腕をあげる所」できれいに腕をあげることができたので良かったです。
- 3年生最後の太鼓は、「みんなで揃える」ところが上手にできました。
- 私は、太鼓でアフリカンシンフォニーと情熱大陸を演奏しました。上手くいかないこともありましたが、最後までやりきりました。楽しかったです。
- 僕は最後まで太鼓を叩ききりました。とても頑張れました。演奏最後に客席へ手をいっぱい振りました。
- アフリカンシンフォニーは、しっかり演奏できました。情熱大陸は、ミスがあったけどがんばりました。
- 僕は、練習の成果を発揮することができ、全力で演奏することができたので良かったです。
- 最初の合同学芸会でしたが、あまり緊張しませんでした。でも、演奏中太鼓の台が動いて少し焦ってしまいました。
- 太鼓が倒れたけど、気にせずたたけました。
- 情熱大陸では同じパートの人とそろえてたたくところを頑張りました。
- 私は、練習でリズムがバラバラになったりしましたが、本番で間違えずにできたので良かったと思います。来年も頑張ります。
- 情熱大陸では、1回もミスしないで演奏できました。アフリカンシンフォニーは、ミスもありましたが頑張りました。

(4組担任)

